

要望事項 (優先順位 3)

高齢者が憩える広場・施設の確保、集い事業への助成について

要 旨

- 1 吉田地域は左京の中でも高齢化が顕著に進んでいる学区のひとつです。しかし、高齢者が気楽に集え、談笑ができ、交流が図れる公共の広場（公園）、施設（「老人いこいの家」）はなく、その確保は緊急の課題となっています。吉田地域内での広場、施設の確保をお願いいたします。
- 2 高齢者対策事業助成の実施強化をはかって下さい。「朝カフェプラン」を拡大して、地域版「朝カフェ」事業の実施、推進をはかって下さい。また、進行中の「高齢者の居場所づくり支援」の対象件数（箇所）を増やす等、助成強化をはかってください。

吉田地域内で気楽に高齢者が憩え、集える方策を切に望みます。
なお、近衛中学校南側の「洛東病院寮」跡地が、遊休地として放置されているため、広場（公園）として活用出来るよう、対応を要望いたします。

回 答**(保健福祉局)**

介護保険制度の改正により、平成29年4月から「介護予防・日常生活支援総合事業」が創設・実施されることとなり、現在、事業の具体化を進めております。

これに併せ、介護予防の取組として実施している「高齢者の居場所」の更なる設置や参加者の拡大を図るとともに、元気な高齢者やボランティアが「ちょっとした困りごと」等に対応する仕組みづくりを進める観点から、「高齢者の居場所」をはじめとする生きがいづくり支援施設等についても、必要な見直しを進めることとし、「今後の基本的あり方案」についてパブリックコメントを実施しました（8月31日（水）から10月3日（月）まで）。

案では、「高齢者の居場所」及び「老人いこいの家」等について、「高齢者の居場所」での取組内容を基本としつつ、「健康長寿サロン（仮称）」として統合し、身近な場所でより多くの参加者や通いの場の拡大に努めていくこと等としております。

今後は、いただいた御意見等を踏まえたうえで必要な取組を進めてまいります。

(京都府)

当該施設については、現在災害用備蓄物資の保管場所として活用中となります。その維持管理についても定期的な除草作業等を実施しているところです。

(左京区役所)

- 2 地域版「朝カフェ」事業の実施、推進について

左京区役所では、「みんなでつくる左京朝カフェ」事業を平成24年度から実施しており、区民の皆さんで構成する左京朝カフェ運営チームが主体となり、左京区内全域を対象として運営されております。

一方、御要望の地域版「朝カフェ」につきましては、特定の地域に限定した「朝カフェ」として、区役所の支援の下で、当該地域住民の方が主体となり、実施するものと位置づけております。これまでの事例といたしまして、「大原朝カフェ」がござ

いますが、これは、平成27年度に、大原で朝カフェを開催したいという地元住民の方に、区役所から朝カフェの企画・運営等のノウハウを伝授し、その結果、独自に住民の方が大原朝カフェ実行委員会を立ち上げられ、大原を舞台に、定期的に朝カフェを実施されているものです。

今後、地域版の朝カフェについて、具体的な立上げのお考え、御希望がございましたら、区役所地域力推進室までお気軽に御相談ください。